

REPORT 2020

2020年9月末の状況



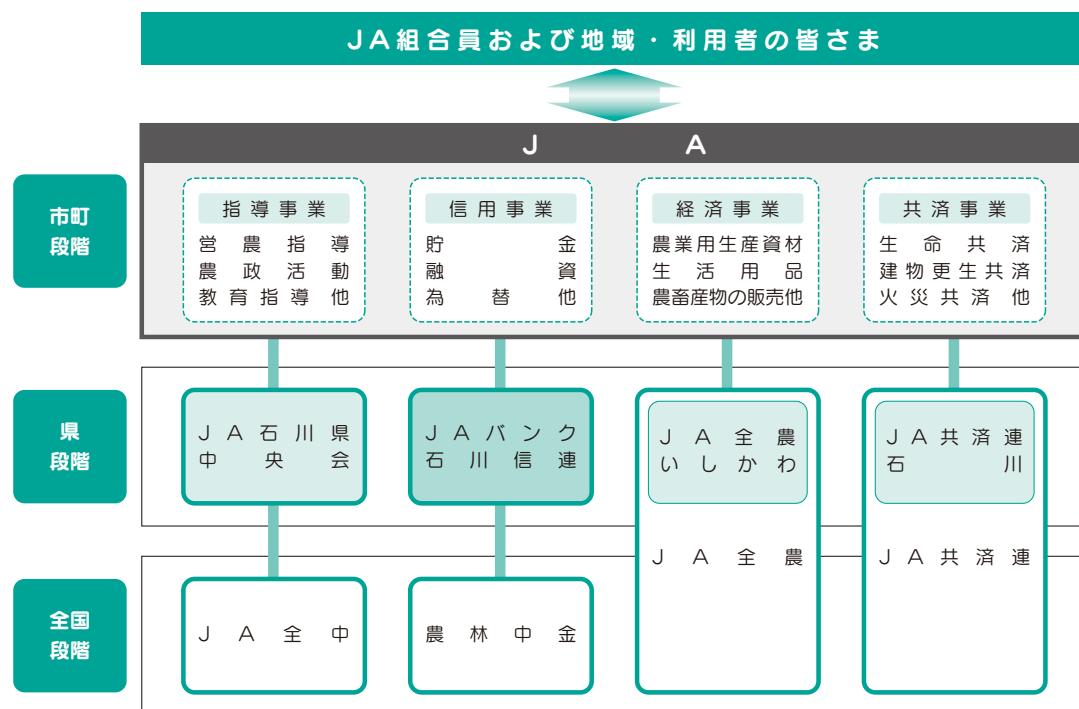
JAバンク石川信連

ＪＡバンク石川の概要について

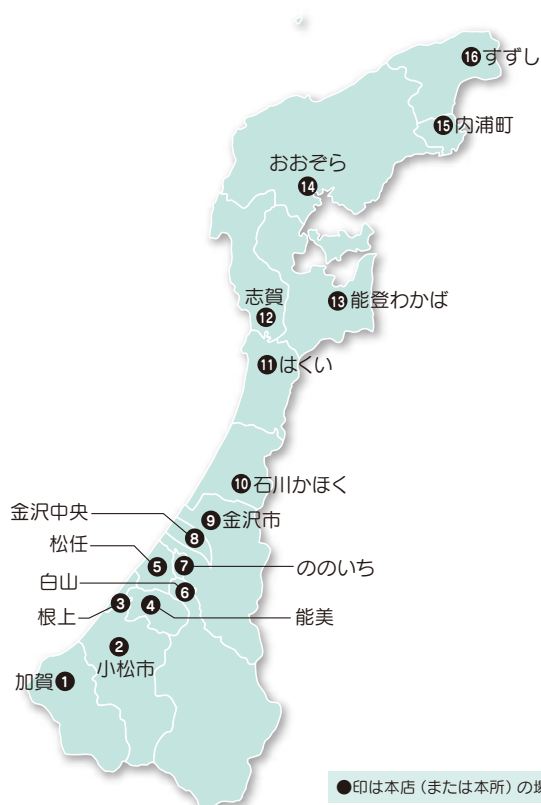
ＪＡグループ石川の仕組み

ＪＡグループは、農家組合員をはじめとする組合員組織を基盤に、市町段階のＪＡ、県段階・全国段階の連合会組織で構成し、それぞれが機能を分担のもと、信用事業、指導事業、経済事業、共済事業等を展開しております。

このうち、信用事業においては、ＪＡ・信連・農林中金で構成するグループを総称して「ＪＡバンク」とし、グループ全体のネットワークと総合力で、地域の皆さまに、より身近で便利、そして安心なメインバンクとなることを目指しております。



ＪＡバンク石川のネットワーク



石川県下16ＪＡの信用事業部門と当会を総称して「ＪＡバンク石川」とし、ＪＡと一体となって信用事業を展開しております。

当会は、信用事業を行う県段階の連合会組織として、県下ＪＡの事業運営をサポートするとともに、県域を営業エリアとする地域金融機関として地域の皆さまから信頼される事業運営を行い、地域農業および経済の発展に貢献できるよう努めております。

ＪＡバンク石川

県下16ＪＡ

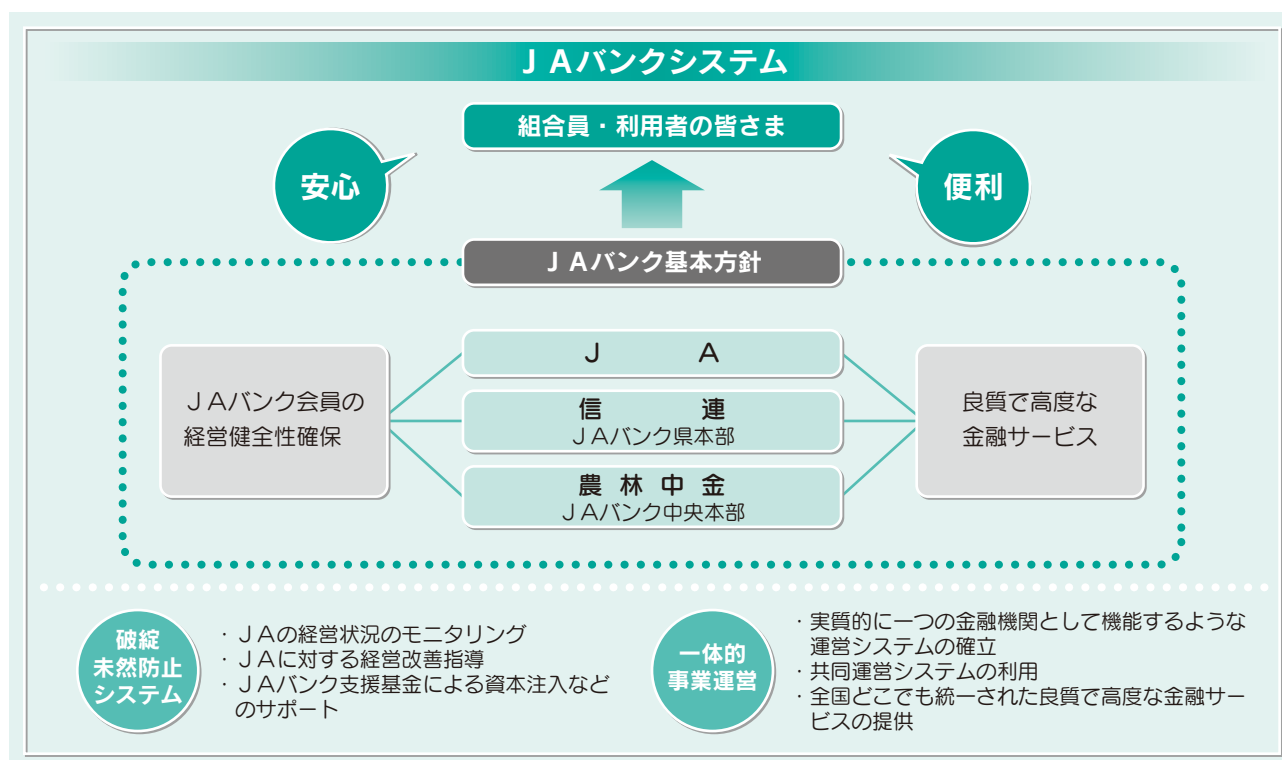
- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| ① ＪＡ加賀 | ⑦ ＪＡののいち | ⑬ ＪＡ能登わかば |
| ② ＪＡ小松市 | ⑧ ＪＡ金沢中央 | ⑭ ＪＡおおぞら |
| ③ ＪＡ根上 | ⑨ ＪＡ金沢市 | ⑮ ＪＡ内浦町 |
| ④ ＪＡ能美 | ⑩ ＪＡ石川かほく | ⑯ ＪＡすずし |
| ⑤ ＪＡ松任 | ⑪ ＪＡはくい | |
| ⑥ ＪＡ白山 | ⑫ ＪＡ志賀 | |

県連合会

ＪＡバンク石川信連

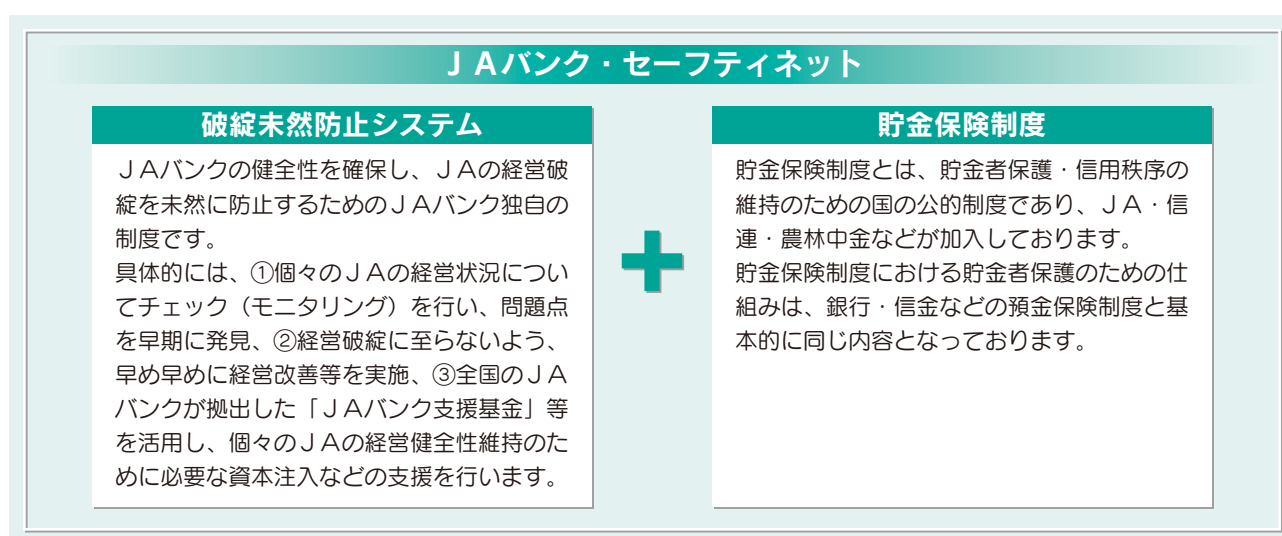
JAバンクシステムとは…

組合員・地域利用者の皆さまに、より便利で安心な金融機関としてご利用いただくため、全国のJA・信連・農林中金の総合力を結集し、再編強化法に基づき、実質的に「ひとつの金融機関」として活動する取組が「JAバンクシステム」です。このJAバンクシステムを活用し、全体の高度化、専門化などを進めていきます。



JAバンク・セーフティネットとは…

JAバンクでは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティネット」を構築しています。これにより、組合員・利用者の皆さまにより一層の安心をお届けします。



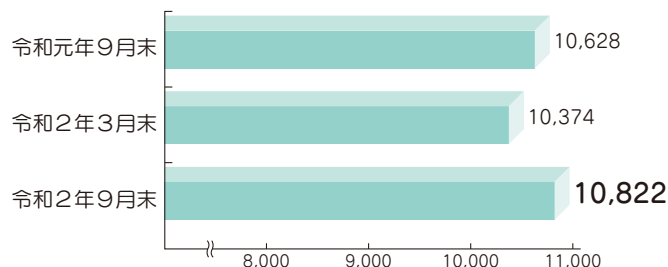
JAバンク石川信連の財務状況等について

本資料に掲載されている計数は、令和2年9月末仮決算に基づいております。

主要勘定の状況

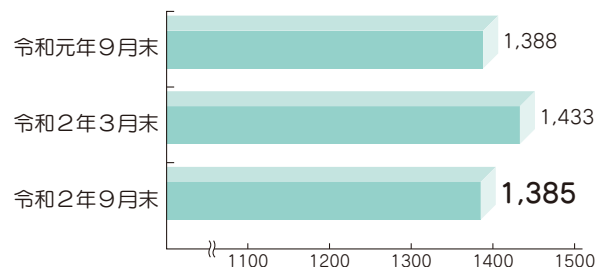
【貯 金】

(単位：億円)



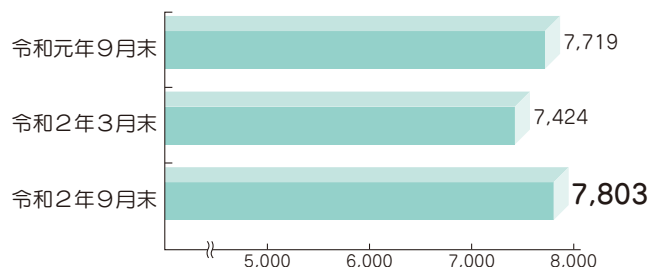
【貸出金】

(単位：億円)



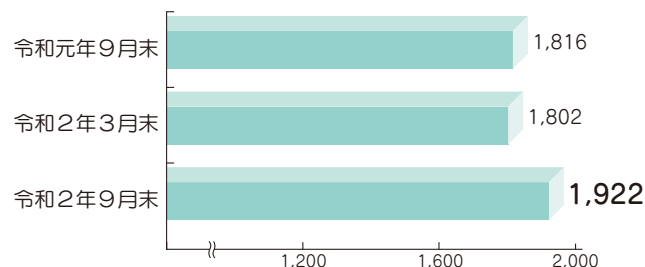
【預け金】

(単位：億円)



【有価証券】

(単位：億円)



損益の状況

(単位：百万円)

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
経 常 収 益	4,448	8,707	4,472
経 常 費 用	2,965	6,444	3,063
経 常 利 益	1,482	2,263	1,408
当 期 剰 余 金	1,315	2,087	1,214

単体自己資本比率（国内基準適用）

(単位：百万円)

項 目	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
自 己 資 本	62,407	61,480	62,702
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等	361,281	362,349	365,734
自 己 資 本 比 率	17.27%	16.96%	17.14%

注. 金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準に基づき算出しております。
国内基準行においては4%以上、国際統一基準行においては8%以上の自己資本比率が求められております。

・本資料に掲載してある計数は原則として百万円単位未満を切り捨てのうえ表示しております。
・計数中の“0”は計数が百万円単位未満であることを、“-”は該当する計数が無いことを表わしております。

有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	令和元年9月末			令和2年3月末			令和2年9月末		
	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	171,279	181,674	10,394	173,962	180,278	6,316	186,152	192,260	6,108
合 計	171,279	181,674	10,394	173,962	180,278	6,316	186,152	192,260	6,108

注：有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。
取得価額は、償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

【金銭の信託】

(単位：百万円)

区 分	令和元年9月末			令和2年3月末			令和2年9月末		
	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額
運用目的	800	794	△ 5	739	739	—	739	823	83
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	800	794	△ 5	739	739	—	739	823	83

注：金銭の信託の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。

リスク管理債権

(単位：百万円)

区 分	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
破 綻 先 債 権 額	—	—	—
延 滞 債 権 額	435	415	407
3 カ月以上延滞債権額	—	—	—
貸 出 条 件 緩 和 債 権 額	0	0	0
合 計	436	416	407

- 注1. 破綻先債権
未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
2. 延滞債権
未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
3. 3カ月以上延滞債権
上記注1～2以外で債務者が元本又は利息の支払を3カ月以上延滞している貸出金です。
4. 貸出条件緩和債権
上記注1～3以外で債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権

(単位：百万円、％)

	令和元年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	417	399	392
危 険 債 権	17	16	14
要 管 理 債 権	0	0	0
小 計 (A)	436	416	407
正 常 債 権	139,077	143,519	138,805
合 計 (B)	139,513	143,935	139,213
不良債権比率 (A/B)	0.31	0.29	0.29
保 全 額 (C)	436	416	407
担 保 ・ 保 証	16	18	18
引 当	419	397	389
力 パ ー 率 (C/A)	100%	100%	100%

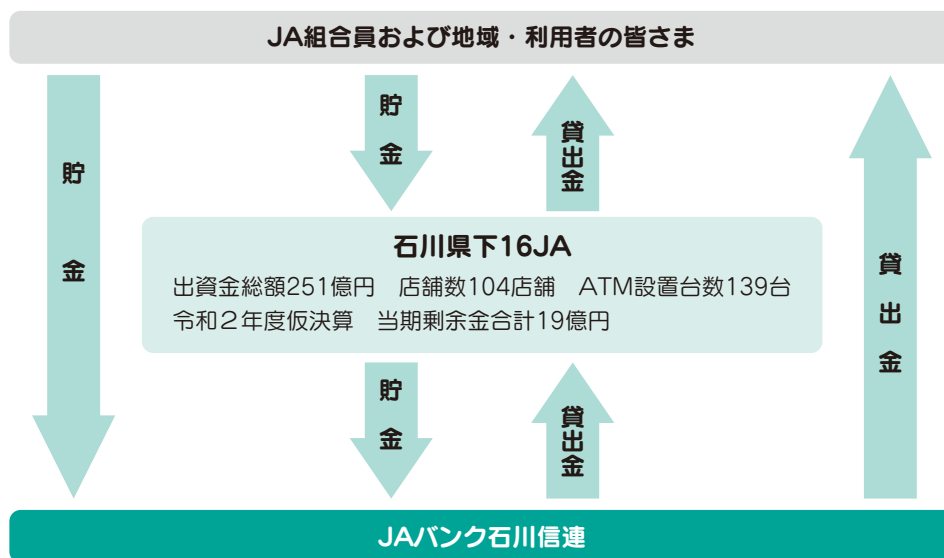
- 注1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
法的破綻等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権
経営破綻の状況にはないが、財務状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。
3. 要管理債権
上記注1～2以外の3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。
4. 正常債権
上記注1～3に掲げる債権以外の債権です。

JAバンク石川の地域密着型金融への取組状況等について

当会は、石川県を事業区域として、県内JA等が会員となって、相互に助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域社会の一員として、金融を通じて県内経済の継続的発展に努めている地域金融機関であります。また、金融サービスの提供はもとより、環境・文化・教育・スポーツといった面からも広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

なお、当会では、平成29年3月に金融庁が公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定しております。

また、金融円滑化にかかる基本方針を定め、中小企業等への経営支援に取り組むとともに、経営者保証に関するガイドライン研究会公表の「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、誠実に対応するよう努めております。

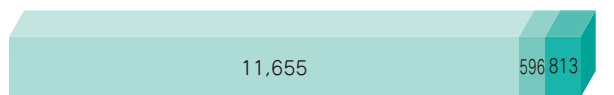


JA組合員および地域・利用者の皆さまからの資金お預かり状況

【県下JA貯金】

(単位: 億円)

令和2年3月末: 13,064



令和2年9月末: 13,552

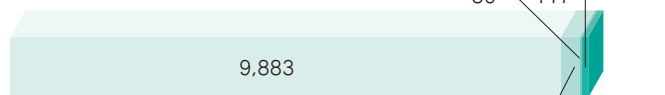


個人 地方公共団体等 その他

【JAバンク石川信連貯金】

(単位: 億円)

令和2年3月末: 10,374



令和2年9月末: 10,822



県下JA 地方公共団体 個人 その他

JA組合員および地域・利用者の皆さまの資金ご利用状況

【県下JA貸出金】

(単位: 億円)

令和2年3月末: 3,129



令和2年9月末: 3,093

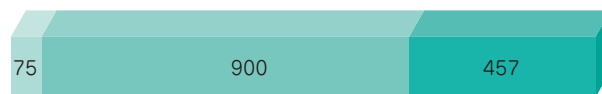


農業制度資金等 地方公共団体等 各種ローン等 事業資金その他

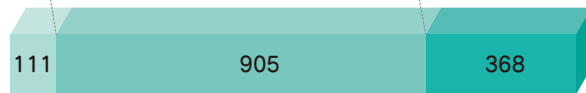
【JAバンク石川信連貸出金】

(単位: 億円)

令和2年3月末: 1,433



令和2年9月末: 1,385



JA等会員 地方公共団体 地元中小企業等

新型コロナウイルス感染症に係る対応

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者等に対する相談窓口を設置するとともに、令和2年7月31日より、農業経営の維持継続を目的とした「JA農業経営維持継続資金（危機対応）」を新たに創設しました。

また感染拡大防止策として、政府より示された「新しい生活様式」に基づき、県内JA信用事業全店舗において非接触式の手指消毒器などを設置いたしました。

引き続きJAバンク石川として、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた生産者等への支援を行って参ります。

農業者の所得向上、地域の活性化に向けた取組み

1. 農業者の所得向上に向けた取組み

「食」と「農」を通じて石川の農業を応援し、JAバンク石川が一体となって農業者の所得向上等に向けた取組みを進めております。

JAバンクアグリサポート利子助成・利子補給事業

担い手農業者、地域農業者の借入負担を軽減するため、農業近代化資金、農業バックアップ資金、農業アシスト資金、農業経営改善促進資金、アグリパートナーローンの借入者に対し、利息の一部助成・補給を行っております。

農業近代化資金・農業バックアップ資金の保証料助成

農業近代化資金・農業バックアップ資金の借入者に対し、保証料全額の助成をすることで、その経営をバックアップし成長に向けた支援を行っております。

農業専門金融機関としての役割発揮

農業専門金融機関として担い手に対する一層の機能発揮を目指して、県内16JA・当会に「担い手金融リーダー」及び「農業融資担当者」を設置するとともに、日本政策金融公庫「農業経営アドバイザー」資格取得者等による担い手経営支援に取り組んでおります。

農村地域振興等の基金（ファンド）への出資

当会は、石川県が創設した「いしかわ農業参入支援ファンド」、「いしかわ里山振興ファンド」、「いしかわ次世代産業創造ファンド」、「いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド」に対し、JAバンク石川として基金の一部を出資し、農業参入の支援・促進、農村地域振興の観点から、ファンドの取組みを応援しております。

2. 食農教育サポート

未来を担う子どもたちに対して、食農を中心とする教育活動を通して、食、環境等と農業のつながりを知ってもらい、農業に対する理解を深めるため、JAバンク教材本「農業とわたしたちの暮らし」を県内全小学校5年生及び特別支援学校へ贈呈しております。

3. 地域社会への貢献

当会では、県内JAとともに、地域社会の一員として農業と自然を大切にしたい地域貢献活動の実践を掲げ、環境・文化・教育面にわたり幅広く活動を実施しており、これらの活動を通じて地域社会の振興・活性化に取り組んでおります。

「～いしかわ・金沢～ 風と緑の楽都音楽祭2020 秋の陣特別公演」への協賛

音楽の力で地域に活力とにぎわいを創出し、未来の文化芸術の担い手である子どもたちの豊かな情操を養うことを目指して開催された「～いしかわ・金沢～ 風と緑の楽都音楽祭2020 秋の陣特別公演」に協賛しました。

「第43回JAバンク石川くらしの絵コンクール」の開催

「くらしと農業」をテーマに、子どもたちがくらしを見つめることで正しい生活感の醸成を図るとともに、美術教育の振興を目的として、第43回JAバンク石川くらしの絵コンクールを開催し、令和2年10月の「石川の農林漁業まつり」において優秀作品を展示するとともに、入賞者への表彰を行いました。

「年金相談会」の開催

各種年金手続きや、老後のくらしの相談等に応えるため、県内JAとともに社会保険労務士による年金相談会を上半期に20回開催しました。

「クリーンビーチいしかわ」への協賛・参加

環境保全に取り組む「クリーンビーチいしかわ」に協賛し、毎年金沢市内で実施される海岸一斉清掃にボランティア参加しております。

お客さま本位の業務運営に関する取組み

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げております。

当会では、この理念のもと、平成29年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献してまいります。

《お客さま本位の業務運営に関する取組方針》

<http://www.is-ja.jp/jabank/shinren/honi.html>

中小企業等への経営支援

平成21年12月の金融円滑化法施行以来、合計42件 3,595百万円（令和2年9月30日まで）の貸付条件変更申込みがあり、債務者の経営実態や企業特性を踏まえたうえで迅速な審査と適正な対応を行いました。

なお、貸付条件変更後は定期的な訪問等により債務者の経営状況の把握に努め、適切な経営指導・経営改善支援等に努めております。

「経営者保証に関するガイドライン」への対応

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当会は、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備し、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めております。

お取引先とのネットワークづくり

アグリファンド石川

昭和52年に、農業生産の中核的担い手となる自立経営農家の育成と、農業経営の安定向上を目的に、旧農林漁業金融公庫資金の利用者を対象に設立。

現在、会員数は82先で、持続可能な農業経営を目指し、会員が抱える経営課題の解決をテーマとした勉強会等、農業経営の安定・向上に向けた活動を行っております。

翼信会

昭和62年に、当会取引先企業等を会員とし、会員相互の情報交換と研鑽を目的に設立。

現在、会員数は43先で、年2回の経営者交流会のほか、講演会、視察研修や従業員交流会等を行っています。

また、アグリファンド石川と合同研修会を行うなど、相互交流を図っております。



©よりそう



石川県信用農業協同組合連合会

〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地 TEL:076-240-5111

お客様ダイヤル ☎ 0120-30-7766

ホームページ <http://www.is-ja.jp/jabank/>

E-mail jabank@sin.is-ja.jp

プロフィール

（令和2年9月30日現在）

設立年月	昭和23年8月
総資産	1兆1,630億円
出資金	330億円
会員数	77会員
役員数	19名（経営管理委員12名、理事3名、監事4名）
職員数	79名（男子48名、女子31名）
店舗	本所